

茨城県被災地復興支援団体「PINOKIO CLUB」(松村雅生代表)主催の太子町復興ボランティアに
1月26日地球市民活動部4名が参加しました。現地からの3年生部長・石井さんが現地での活動をレポートします。

「1月26日(土曜日)に袋田の滝の近くにある茨城県太子町上小川キャンプ場キャンプ場の復興支援に行きました。太子町は、台風19号で久慈川の氾濫の被害を大きく受けました。炊事場やトイレ、などすべて川に流されてしまい、今もまだありません。また、腐った流木や、割れたお茶碗の破片、パイプ椅子、コンロなどが土に埋もれており、時間がたった今でも被害の大きさを感じられる状態でした。キャンプ場の奥さんが貨物列車のコンテナの一部を使ってプリンを販売していたお店も真横に倒れ、土砂が3分の1ほど入っていて使い物にならない状態でした。

今回参加した高校生は取手一高生の女子1年生が3名、3年生が1名、土浦日大高校2年生男子1名が参加しました。また、社会人の方が他に7名参加し、合計13名で被災地に行きました。大人の方々は、コンテナの解体や、大木のカット、泥をかきだすなどの作業を行って下さりました。高校生は流されてきた流木やカットした気を燃やす作業、泥をかきだすなどの作業を行いました。木材を燃やしているときに家の骨組みの木などが酸化していたために炎大きくなり、災害後の火災の怖さを学びました。この支援はキャンプ場の収入だけで3世代に渡って生活してきた家族の大事な場所を今年の5月までに復活させることを目標に行っています。2月16日にもまた支援に行く予定です。」

